

(2) 昭和61年度環境科学実習について

前 田 修

昭和60年度の実習は、当該年度限りの暫定として実施された。それは60年度中に実習の位置付け、展開方法が検討されて、次年度から新しい形の実習が開始されるはずであったからである。しかし60年度中にはこの検討が結論を得るまでに進展せず、それゆえ昭和61年度の環境科学基礎実習および野外実習は、まったく前年度を踏襲することになった。

授業開設科目表に示されているとおり担当教官の一部が交替しただけで、形式的にはまったく前年どおりである。実習を開始するに際して全体としてのまとめや発表会などは行なわないと申し合わせたので、各科目各班で実際にどのような実習が展開されたかは把握していないし、また実習委員長としてそれを把握するつもりもない。展開の形式については前年の年報に述べてあるので参照されたい。

昭和61年度のはぼすべてを費やしてカリキュラムの見直しが行なわれ、それに従って昭和62年度から新しい形式、新しい内容の環境科学実習が開設される運びとなった。新しいカリキュラムの下では実習内容がほぼ固定される見込みで、このカリキュラムは少なくともむこう5年間は改訂されない筈である。毎年度末に次の年度の実習について想い悩む必要はなくなるであろう。いまは新しいカリキュラムが実り多いものであることを祈るのみである。